

菜の花の種まき
とルピナスの球根
移植



ていた『さくらさくら』。11月には地域のの方の指導を受け環境中庭専門委員の生徒たちが菜の花の種をまき、ルピナスの球根を植えました。卒業式や入学式の季節にはピクから黄色に生まれ変わった花壇は、地域と生徒の地道な協働の形として生徒を見守ります。

助宗黨は、瀬戸川左岸の助宗集落を取り囲む低丘陵地の斜面に築造されている。1979年の教育委員会による分布調査によ、東西2km、南北1kmの範囲に総数97基以上の窯跡が存する。このことが明らかである。助宗古窯群

は細谷地区、清水地区、鹿鳴渡地区、花倉地区、島地区、すべら須恵地区、9世紀初頭から12世紀後半にかけて、灰茶釉陶器及び山継続的の営まれました。

防災食を食べよう！

[illegible]

サポーターズクラブ連絡会

3月の
中庭の様子



この日は、下級生と上級生が、各クラス半分ずつ入れ替わり、他学年の児童と共に防災食を食べました。また、自治会長やコミニティ・スクールのディレクターが児童の様子を参観しました。昔からある乾パンだけでなく、レトルトや缶詰の副食などの工夫された様々な防災食を楽しんでいた児童たちで、それが「給食とどっちが良いですか」との質問には、どの児童も「給食の方が良い」とはつきり答え、姿が印象的でした。将来、児童たちが実際に体験する可能性が高いために、大災害に備えて様々な試みを実施されています。



寄って保管してあった様々な防災食を実際に作って食べてみると、試みが実施されました。